

日本共産党 ひめだ高宏三平

No. 17

08.1.23

お元気ですか？ちよつと冷えますなあ

最近、グッと冷えこんで、朝の新聞配達でマフラーをまいて出たら、その水はすしに近く、昼間でもマフラーをしてバイクで走っています。

日本共産党 政治を打開する道示す

日本共産党は、いま全国

からです。日本共産党 和歌

あなたのお宅でぜひ小集会を

で、県・市内で、みなさんに小集会をよびかけています。参院選の結果をふまえて、次期衆院選での躍進をめざし、日本共産党のめざす日本改革の方針を正面からお話しをして、国民多数の合意をはかるように考えている

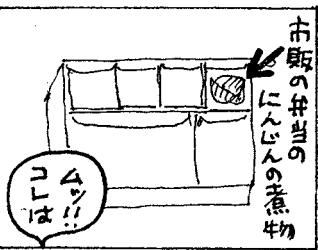
開いていただけると、くにしげ秀明衆院候補や、いい健太郎議員、私、ひめだがお話しします。近所の人を集めてやるよとか、部屋を貸してもいい

という方があれば、ぜひ、私、ひめだ(080・1415・3951)までご連絡ください。日時などは相談させていただきます。よろしくお願ひします。

フリーの 人々



560



山県委員会は、話し合いをすすめる一つの資料として「こいっしゅ」に考えてみませんか、どんな政治に変えるのか」というパンフ(B5版15頁)をつくりました。



日本共産党
演説会
3月23日
日 夜 7:30
県民文化会館
ホール
志位和夫 日本共産党
幹事長
くにしげ秀明 和歌山支部長
幹事長
各後援会のバスありませう

こんにちは
県会議員の
ふじい健太郎
です。
(その206)

C型肝炎に感染された方々が訴訟を起こしている「葉書肝炎訴訟」が、政治決着しました。国が被害の発生と拡大を防止できなかった責任を認め、被害者と遺族に謝罪し、長年苦しまれてきた方々を救済するしくみが議員立法で作られ、1月16日に施行されました。対象となるのは、妊娠中・出産時あるいは手術での大量出血や腱・骨折片などの接着時に「特定ファイブリンゲン製剤」を

特定血液凝固製剤の投与を受けC型肝炎ウイルスに感染された方とその相続人です。補償金(肝硬変・がんは4千万、C型肝炎は2千万、キャリアは1千2百万円)を受けけるには国を被告として訴訟を提起し、裁判で因果関係、症状が確認されたら和解の手続きに入り補償金を請求します。

これで、感染によるすべての肝炎患者が救済されるわけではなく、今後とも国・自治体へのはたらきかけが必要で



ふじい健太郎 県会議員

日本共産党
名草後援会

バラ寿し、おでんにバンドも

1月20日(日)夜、紀三井寺田地自治会館で、日本共産党名草後援会が新年会を開いてく水ました。

くにしげ秀明衆院候補、ふじい健太郎県会議員と一緒に、私、ひめだも参加させていただきました。

あいにくの雨にもかかわらず、50人近い後援会員のみなさんが集まってくれました。例年のように、手作

りバラ寿し、おでん、ゴボウの天ぷらなどがいっぱい並びました。また、今回は民衆の名草宮前支部有志でつくるバンド「サンライズ

くにしげさんと毎週金曜DJで

昨年の12月から毎週金曜日の朝7時30分から1時間くにしげ秀明さんが、JRX口でハンドマイクを使って、日本共産党の政策など

の演奏や歌がひろうされ参加者からもカラオケが飛び出すなど、にぎやかで楽しい企画もありました。カラくじなしの福引きも用意されていきました。ごちそうさまでした。

を訴えています。私、ひめだも一緒に立ってその時々赤旗号外などを配っています。見かけたら、くにしげさんを激励してください。

こんにちは 日本共産党



「社会保険庁の年金の扱いはひどい。一生懸命かけても、生活できる金額にならぬのも存ある一年金をテーマにした会合のなかでの話では、

ありません。各地の後援会の新春のつどいや、(原田高騰の影響調査などで、お話していたこと。私から話題にしたわけではないのですが、二つの会場で連続して、年金問題での政府へのまじい批判をおきました。そして、年金の底上げが必争という点で意見が一致



くにしげ秀明 (衆院1区・比例)

増税や、医療、介護の負担の増大などで、くらしが大変なときだけに、怒りの声は当然だと思えます。頼りになる年金への改革が急がれます。

潮流

(日刊) 08.1.19

「井戸を掘るなら水が湧くまで掘れ」。明治時代の農村指導者、石川理紀之助の言葉だといひます。福田首相が、施政方針の演説に引きました▼首相によれば、

「(憲法を)改正するとすればどのような内容か」と議論されるよう期待する▼目先を変えたい首相は、「消費者・生活者が主役となる社会」をめざすといひます。食品の偽装などをなくすのは、政治のつとめです。しかし、消費税を早く増税しようと説くのですから、消費者が主役、もたない。ちなみに、自民党方針は「消費税」に一切ふれていません。「憲法」と

▼「あきらめない」という、首相の気持ちは分かります。前日、自民党の大会は「わが党は立憲以来の最大の危機に直面している」「(運動方針)と認めました。自民党の思い通りにならない時代がきています▼たとえ、代がきています▼たとえ、自民の運動方針は本音を隠しません。「新しい憲法の制定」に断固として取り組む」。しかし、施政方針は

「(憲法を)改正するとすればどのような内容か」と議論されるよう期待する▼目先を変えたい首相は、「消費者・生活者が主役となる社会」をめざすといひます。食品の偽装などをなくすのは、政治のつとめです。しかし、消費税を早く増税しようと説くのですから、消費者が主役、もたない。ちなみに、自民党方針は「消費税」に一切ふれていません。「憲法」と

は逆の使い分けなので、うか▼理紀之助は、「得がたいものは信頼だ。信頼はつつみかくさず教えおう」とから生まれる」といったそうです。首相も引いたのですが、なぜか「つつみかくさず」の部分をおいていひます。ごまかしごまかしの政権に、それは無理な話でしょう。

政治がわかり世界がわかる
赤旗 日刊紙 2,900円/月